

# 豪快、流麗な76点並ぶ

## 市文化祭書道展が開幕

図書館・公民館

で実際に作品を目にする。ぜひ見に来てほしい。書き手のエネルギーが伝わってくる。午前9時～午後5時（最終日は午後4時）。入場無料。（近藤哲也）



豪快、流麗な文字にそれぞれの味わいがある市文化祭書道作品展

2017年度市文化祭の書道作品展（市教委など主催、山陽新聞社後援）が15日、市立図書館・中央公民館ギャラリーで始まった。来場者の心をつかんで

中国を代表する詩人の漢詩や、8月に市内外

市文化協会書道部会

員、書道愛好者ら64人

が額、軸装で1、2点

ずつ披露。漢字は中国

・唐の時代の李白や

岑参の漢詩など。かな

は万葉集の歌が中心。

玉野高校、玉野商業高

校の3人も1点ずつ出

品した。

オレンジ色の軸に

「柿くへば鐘が鳴るな

り法隆寺」としたため

た作品は特に強烈な印

象。「亀の脱走」と力

強い筆致の大作は、渋

川動物公園周辺で脱走

劇を繰り広げたアルダ

ブラソウガメを思い起

こさせる。来場者は墨

のかすれや濃淡、余白

とのバランスで生まれ

る絶妙な趣を味わっ

いた。

書道部の岡林葉葉会

長(90)「玉」は「会場

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。